



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

strip

タイプ

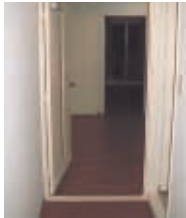
持家共同建

講評

クリエイティブな活動をしている単身者のためのマンションのスケルトンリフォーム。設備も家具も造作も等価な装備と見なしてローコスト化。エントランスである土間空間と生活空間を仕切るブルーのパーティションが効果的。



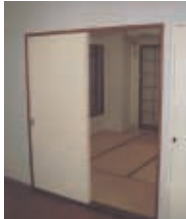
1 改修前の玄関



2 改修前の廊下からリビングダイニングを見る



3 改修前のキッチン



4 改修前のリビングダイニングから和室を見る



5 キッチンを見る。キッチンは、ステンレスヘアライン仕上げ



6 玄関から土間を見る。近い将来SOHOにした際は、写真を飾るためのギャラリーとなる



7 リビングダイニングからキッチンを見る。左側間仕切壁には、収納が設置されている。右側奥は、洗面脱衣室



8 リビングダイニングを見る。ダイニングテーブルは、間仕切壁と同様の材にて製作



9 キッチンからトイレ、土間を見る。トイレは、強化ガラスで囲われている



10 リビングダイニングを見る。間仕切壁(H=1,800)の裏側には、収納が設置されている

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

古き良き東京がいまも残る地に建つマンションの改修である。
築20年の集合住宅を新たに購入し、今回の計画に至った。
・新聞社勤務のカメラマンをしているクライアントの女性の要望は、将来の独立に備えSOHOとして、また豊かな生活ができるようにとのことであった。
・そして、限りある予算の提示を受けた。
限りある予算内でできること、それはすべての無駄を取り払い、最低限の要素を付加することで部屋を再構成することであると考えた。
・歩くためだけの廊下をギャラリーに。

・必要最低限のキッチンを。
・最低限の間仕切壁により、リビングダイニングと寝室に境界を。
この改修工事が完成したのが、たった2ヶ月前。完成からこの短い間に、生活するために必要な家具がクライアント自身の手により序々につくられている。
玄関を開けると、突然別世界が広がるこの住まいで、日々、試行錯誤しながら生活している様子を想像すると、その姿に微笑ましさを感じた。そして、小さな住まいゆえ、住まい手の住みこなし方の重要性を痛感した。

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	東京都墨田区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造/20年
該当工事面積	48 m ² /総工事床面積 48 m ²	該当部分工事費	350 万円/総工事費 350 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 1 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ベッド：		
設計者		担当者	宇治 康直
施工者	(有)大原工務所	担当者	大原 彰

リフォーム前

リフォーム後

